

【6】新開発 “まぶしい” 個人差を数値で計測 ～東海光学(株)～

眼鏡レンズメーカーの東海光学(株)は、自然科学研究機構生理学研究所との共同研究で青色光(ブルーライト)をカットするカラーレンズの防眩(ぼうげん)効果を、脳の反応から客観的に計測する手法を開発しました。

これまで、個人の主観による曖昧な計測しかできなかった「まぶしさ」の感じ方について、個人ごとの特性や脳の反応を計測することで、一人ひとりに合った最適なレンズの提供が可能となります。

また、今後は同手法を用いた簡易的な計測機器の開発にも取り組み、目の健康な人でもアイケアの一環として、関心が高まることを期待しています。

目に優しい快適なレンズがさらに普及するのが楽しみです。

=会見の様子=

